

	2011年10月	2011年11月	2011年12月	最近の経済動向
世界	-G20:金融システム安定化のためにあらゆる行動 -世界人口:70億人へ -ドバイ原油5日97ドル、13日104ドル -世界パソコン出荷7-9月3.6%増 -世界半導体売上9月1.7%減	-G20成長持続の各国協調、経常黒字国の為替柔軟化、I -市場安定 -GDP:12年:日本 0.5 2、欧1.6米1.7新興国7.2 6 -世界自動車生産11年4%増 -世界半導体売上10月1.8%減		・中国内需・輸出で成長維持、インド7%台成長、韓・台成長鈍化、ASEAN 明暗。米成長鈍化も輸出・消費堅調。欧州輸出鈍化・消費低迷。日本景気低迷。欧米信用不安、株価下落・世界的インフレ、中東政変が懸念材料
日本	-GDP:7-9月前期比年率5.6。消費1、投資-0.4、輸出6.2 -景気:月例10月;持ち直し緩やか -財政・金融:28日:国債等資産買入5兆円+、ゼロ金利13年度継続、31日:為替介入 -株価:5日8,381円、17日8,882円 -雇用:9月:失業率4.1%0.2ポイント改善 -消費:9月:小売販売1.2%減、新車販売1.7%増、薄型TV販売52%減 -受注:9月:機械3.8%減、在庫8.7%増、工作機械20.3%増 -生産:9月:鋳工業3.3%減、在庫5.5%増、自動車19.7%増 4-9月:自動車18.5%減390万台 -貿易:31日対ドル最高値75.32円NY、4日対ユーロ100.76円台、9月:輸出2.3%増、輸入12.1%増 -収益:4-9月:営業益:ニコン3.2倍500億円、日立建機50%増180億円、日立ハイテク16%減、7-9月:営業益:エルビータ400億円赤字、4-9月:営業益:三菱自4倍、川重44%増、NEC50億円、15年迄:キヤノンコスト削減3千億円 -技術:TDK・HDD容量2倍以上、トヨタ1千キロ走行電池試作、マツダ容量2倍電池電極開発、NEC寿命20年住宅用電池開発、三菱電次世代送電網15年度売上1.3兆円	-財政・金融:復興財源法 -株価:7日8,761円、24日8,165円 -物価:10月:消費者0.1%下落 -雇用:10月:失業率4.5%0.4ポイント上昇 -所得:10月:現金給与0.1%増 -消費:10月:小売販売1.9%増、新車販売25.2%増、 -受注:10月:工作機械26%増、 -生産:10月:鋳工業0.1%増、在庫7%増、機械1.8%増 -貿易:10月:輸出3.7%減、輸入17.9%増 -収益:7-9月:経常益:上場企業21%減(4-6月13%減)、4-9月:純益:丸紅50%増1,030億円、三菱重2.3倍398億円、ダイキン16%増470億円、キーエンス5%増、日立68%減、東芝19%減、三菱電2%減、キヤノン7%減、リコー49%減、エフソフ2%減、大日印51%減、営業益:上場企業16%減、島津62%増、ヤマハ30%増、トヨタ326億円赤字、スズキ10%減、12年3月期:純益:コマツ26%増2800億円、いすゞ43%増、ダイキン2.3倍460億円、パナソニック4200億円赤字、ソニー900億円赤字、富士重64%減、IHI64%減、営業益:日立68%減500億円、富士通20億円赤字、経常益:製造業16%減、 -投資:7-9月:9.8%減、12年:IHI家庭用リチウム電池量産	-景気:12月:短観大企業4半年- -株価:5日8,682円、19日8,288円 -所得:冬ボーナス3%増4年ぶり+ -消費:11月:新車販売22.2%増、薄型TV9.5%減 -受注:11月:機械6.8%減、工作機械15.9%増、国内22%増 -生産:ファナック自動車用溶接ロボット月5千台世界需要4割 -貿易:11月:輸出4.5%減、輸入11.4%増 -投資:スズキ低燃費エンジン生産、日立建機超大型鋳山機械部品量産400億円、10月:機械受注(民需)前月比6.9%減、11年度:14.4%増、海外39.2%増、12年:パナソニック有機EL製造設備導入 -収益:3月期:純益:トヨタ56%減1800億円、	(前々月)・GDP4-6月は2.1%減と3期減。上場企業経常益7-9月21%減。株価は欧州信用不安で低水準上下。輸出は8、9月プラス。設備投資やや不透明。所得の伸び停滞。失業率は高水準もやや改善。消費低迷、車販売回復傾向。生産再び減少。景気はやや改善の兆し。景気回復、雇用拡大が課題。極端な円高等による輸出の低迷が懸念材料 (前・当月)・GDP7-9月は5.6%増と4期ぶり+。上場企業経常益7-9月21%減。株価は欧州信用不安で低水準上下。輸出は低迷。設備投資も低迷。所得の伸び停滞。失業率は高水準もやや改善。消費は低位やや回復傾向、車販売回復傾向。生産も低位横這い。景気は先行き不透明。景気回復、雇用拡大が課題。極端な円高等による輸出の低迷が懸念材料
アジア・大洋州	-株価:上海11日2361、13日2432 -中国:国慶節消費(10/1-7)17.5%増、9月:輸出17.1%増、輸入20.9%増、新車販売5.5%増、購買者景気指数51.2%0.3ポイント上昇、消費者物価6.1%、7-9月:GDP9.1%増、輸出22.7%増、消費17%増、投資24.9%増、純益:レノボ88%増1.4億ドル、BYD7倍7,700万元 -韓国:9月:新車販売4%増、7-9月:GDP:前期比0.7%増輸出2%増、消費0.6%増、投資0.4%減、営業益:サムスン13%減3千億ドルマホ好調、LGディスプレイ330億円赤字、ハイニックス190億円赤字、純益:現代自21%増1,310億円 -台湾:9月:鋳工業生産1.6%増、輸出9.9%増、輸入10.8%増、海外受注2.7%増、7-9月:GDP3.4%増、純益:宏達68%増マホ、アスス11%増、ホンハイ9%減、南亜科技119億ドル赤字、友達400億円赤字、イサー11億ドル赤字、UMC78%減、TSMC35%減、クアンタ7%減、コンパル43%減 -インドネシア:7-9月:GDP6.5%増、対内直接投資16%増 -マレーシア:7-9月:GDP5.8%増、消費7.3%増、政府21.7% -タイ:洪水で製造業生産停止、9月:消費者物価4% -インド:9月:鋳工業生産1.9%増、輸出36.4%増、輸入17.2%増、新車販売5%増3ヶ月ぶり+、卸売物価9.7%	-株価:上海4日2,527、25日2,380 -中国:10月:輸出15.9%増、輸入28.7%増、製造業景況感50.4、0.8ポイント低下、消費者物価5.5%鈍化、新車販売1.1%減152万台5ヶ月ぶり-、 -韓国:7-9月:営業益:主要147社8.3%減、サムスン12.6%減、LG3百万ウォン赤字、現代自18.9%増、現代重24.3%増、10月:輸出9.3%増 -台湾:10月:輸出11.7%増、海外受注高4.4%増、輸入11.8%増、鋳工業生産1.4%増 -フィリピン:7-9月:GDP前期比年率1.2%、10月:消費者物価5.2% -インドネシア:政策金利0.5%引下げ年6%へ、10月:消費者物価4.4% -タイ:洪水でトヨタ7カ国で減産、10月:自動車生産68%減殆ど日本車、 -インド:7-9月:GDP6.9%増、純益:主要29社9%増、10月:鋳工業生産5.1%減2年4ヶ月ぶり-、10月:新車販売13%減、卸売物価9.7%増	-政治:17日北朝鮮金正日死去 -株価:上海5日2,345、19日2,167 -中国:預金準備率0.5%引下げ3年ぶり、11月:消費財小売額17.3%増、輸出13.8%増、輸入22.1%増、鋳工業生産12.4%増、固定資産投資21.2%増、対中直接投資9.8%減2年4ヶ月ぶり-、新車販売2.4%減、製造業景況感49、1.4ポイント低下、消費者物価4.2% -韓国:12年中:サムスン、LG有機ELTV投入 -台湾:11月:輸出1.3%増2年ぶり一桁台、欧州向け21.9%減、海外受注2.5%増 -インドネシア:11月:消費者物価4.1% -タイ:11月:消費者物価4.2% -インド:政策金利据置年8.5%、11月:新車販売14%増、卸売物価9.1%、11年度:GDP7.5%増	(前々月)・中国は7-9月GDP9.1%、投資・輸出・消費を中心に好調維持、インフレ傾向、車販売やや低調。韓国、台湾、輸出で3%台成長もインフレ傾向。共に電子中心に企業業績低下。ベトナム、10%台成長も高インフレ。インドネシア、6%台成長もインフレ沈静化。マレーシア、フィリピン、2%台成長。タイ洪水で生産低迷。インド、7%台成長、車販売やや回復。持続的成長が課題。 (前・今月)・中国は7-9月GDP9.1%、投資・消費・輸出の順に好調維持、インフレ鈍化、車販売やや低調。韓国、台湾、生産・輸出鈍化。共に電子中心に企業業績低下。ベトナム、10%台成長も高インフレ。インドネシア、6%台成長もインフレ沈静化。マレーシア、フィリピン成長鈍化。タイ洪水で生産低迷。インド、7%台成長も生産減速。持続的成長が課題。

北米	<p>-GDP:7-9月:2%、消費2.4%投資16.3%輸出4%増</p> <p>-財政・金融政策:財政赤字11年度(10/10-11/9)1.3兆ドル 前年横這</p> <p>-景気:FRB経済活動は拡大、ペースは緩やか、9月:消費者景気指数59.4%3.7ポイント上昇、製造業景況感51.6%1ポイント上昇</p> <p>-株価:NYダウ5日1万550ドル、29日1万2,231ドル、コダック株1ドル割れ</p> <p>-雇用:9月:失業率9.1%横這、10万人増</p> <p>-物価:9月:消費者3.9%、卸売6.9%増</p> <p>-消費:9月:個人前月比2.2%増、小売売上高5.5%増、卸売売上高15%増、新車販売9.9%増105万台、住宅販売0.9%減、住宅着工10.2%増、住宅価格2.2%下落</p> <p>-受注:9月:耐久財9.4%増</p> <p>-生産:9月:鉱工業前月比0.2%増5ヶ月+</p> <p>-収益:7-9月:純益:主要500社17%増、GE57%増2,450億円、アップル54%増5,100億円、マイクロソフト6%増4,400億円、ゲーグル26%増27億ドル、IBM7%増2,947億円、インテル17%増2,660億円、セロックス28%増、キャピラー44%増870億円、ホーニング31%増840億円、フォード2.3%減1,250億円、クライスラー2億ドル、TI30%減、アマゾン73%減、コダック170億円赤</p>	<p>-景気:10月:製造業景況感50.8%0.8ポイント低下</p> <p>-株価:NYダウ9日1万2,170ドル、26日1万1,231ドル</p> <p>-物価:10月:消費者前月比0.1%下落、卸売13.1%増</p> <p>-所得:10月:個人所得前月比0.4%増2ヶ月連続+</p> <p>-雇用:10月:失業率9%0.1ポイント改善、8万人増</p> <p>-消費:10月:個人消費前月比0.1%増、主要小売売上高7.2%増、新車販売7.5%増5ヶ月+、住宅着工16.5%増、新築販売8.9%増</p> <p>-受注:10月:耐久財9.2%増</p> <p>-生産:10月:耐工業前月比0.7%増6ヶ月+</p> <p>-貿易:10月:輸出9.9%増、輸入9.3%増</p> <p>-収益:7-9月:純益:GM12%減、8-10月:シスコ8%減、デル9%増690億円、HP91%減184億円プリンター-落込み、タブレット撤退</p>	<p>-景気:FRB経済は緩やかに拡大、金融政策維持、11月:消費者信頼感56、15.1ポイント上昇、製造業景況感52.7%前月比1.9ポイント上昇</p> <p>-株価:NYダウ8日1万2,196ドル、20日1万1,766ドル、22日1万2050ドル</p> <p>-物価:11月:卸売5.7%増</p> <p>-雇用:11月:失業率8.6%0.4ポイント改善、12万人増</p> <p>-消費:11月:小売売上高6.7%増、主要小売売上高3.2%増、新車販売13.9%増、住宅着工24.3%増</p> <p>-生産:11月:鉱工業前月比0.2%減7ヶ月ぶり-</p> <p>-収益:9-11月:純益:RIM71%減</p>	<p>(前々月)・GDPは7-9月2.5%増で9期連続+。大幅な財政赤字。株価は欧州信用不安で大幅下落もやや回復。企業収益7-9月迄8期連続+。輸出は好調。失業率高水準高止り。個人消費は堅調、車販売回復傾向、住宅販売増加傾向。投資は回復傾向。受注、生産増加傾向。高水準の失業率、財政赤字が懸念材料。景気回復、雇用確保が課題</p> <p>(前・今月)</p> <p>・GDPは7-9月2%増で9期連続+。大幅な財政赤字。株価は欧州信用不安で大幅下落もやや回復。企業収益7-9月迄8期連続+。輸出は好調。失業率高水準もやや改善。個人消費は堅調、車・住宅販売回復傾向。投資は回復傾向。受注、生産増加傾向。高水準の失業率、財政赤字が懸念材料。景気回復、雇用確保が課題</p>
欧州	<p>-GDP:7-9月:前期比:ユーロ0.2、独0.5、仏0.4、英0.5</p> <p>-景気:7-9月:ユーロ景況感6.9ポイント低下</p> <p>-財政・金融:ギリシャ債務問題包括戦略合意(欧州銀行資本増強、欧州金融安定化基金106兆円、ギリシャ国債元本50%削減)、欧州中銀政策金利据置年1.5%、欧州債務危機対応包括戦略(ギリシャ融資、銀行の資金増強、欧州金融安定化基金拡充)</p> <p>-株価:英FTSE5日4944、27日5714</p> <p>-物価:9月:消費者:ユーロ3%、0.5ポイント上昇</p> <p>-消費:9月:新車販売:ユーロ0.7%増、独8%増28.8万台、仏1.4%減、英0.8%減、伊0.7%減、蘭2.4%減、スペイン1.3%減、ポーラ9.6%減</p> <p>-雇用:9月:失業率ユーロ10.2%最悪、スペイン22.6%、ポルトガル12.5%、イタリア8.3%</p> <p>-収益:7-9月:純益:VW3.3倍7500億円、BMW24%増、ソニーエリクソン「0」、9月期:シーメンス58%増6産業機、医療</p>	<p>-財政・金融:4日ECB0.25%引下げ年1.25%へ、ギリシャEU包括支援策受入れ、10日イタリア国債危険水域7.4%、18日スペイン国債6.8%</p> <p>-株価:英FTSE2日5,421、4日5,545</p> <p>-雇用:リア・シーメンス1万7千人人員削減</p> <p>-消費:9月:小売売上高:ユーロ1.5%減、独0.2%増、仏2%増、英1.5%増、スペイン5.8%減、ポーランド0.3%増、10月:新車販売:欧州1%減、独0.6%増、仏2.4%増、英2.6%増、伊5.5%減、スペイン6.7%減</p> <p>-受注:9月:製造業:ユーロ1.6%増、独3.8%増、仏3.1%増、英3.4%減、伊4.3%減、蘭4.8%減、スペイン3.4%増、ポーランド18%増</p> <p>-生産:9月:鉱工業:ユーロ2.2%増、独5.5%増、仏2.3%増、英0.6%減、伊2.7%減、スペイン1.8%減、ポーランド7.9%増</p> <p>-貿易:10月:輸出10%増、輸入8%増</p>	<p>-GDP:10-12月:仏前期比0.2%減、12年EU予測:ユーロ1.50.5、独2.90.8、仏1.60.6、英0.7、伊0.50.1、スペイン0.70.7</p> <p>-財政・金融:欧州金融安定化基金12年1月から拡大、9日欧州中銀0.25%下げ年1%へ、10日EU首脳会議安定化基金機能強化、IMFの活用、ECBによる基金の国債購入、財政規律強化の枠組み</p> <p>-景気:11月:製造業景気指数46.4、0.7ポイント低下</p> <p>-株価:英FTSE6日5,567、20日5,364、22日5419</p> <p>-消費:11月:新車販売:独3%増</p>	<p>(前々月)・GDP4-6月1%増、輸出主導も鈍化。信用不安で株価下落もやや回復。企業業績は自動車業界回復傾向、電子業界悪化。投資低水準も回復傾向。失業率最悪の水準、車販売マイナスからプラスへ、個人消費は依然低迷。受注、生産は回復傾向。信用不安の解消、景気回復、雇用確保が課題</p> <p>(前・今月)・GDP7-9月0.1%増、輸出主導も鈍化。信用不安で株価大幅下落からやや回復。企業業績は自動車は回復傾向、電子業界悪化。失業率最悪の水準、車販売低迷、個人消費は依然低迷。受注、生産はやや増加。信用不安の解消、景気回復、雇用確保が課題</p>
中東ア	<p>-トルコ:7-9月:GDP8.2%増、製造業8.9%、小売9.6%増</p>	<p>-イラク:三菱商、ダッチシェルとLNGプラント建設3500億円</p> <p>-アングラ:双日、三菱重、肥料プラント受注1千億円</p>	<p>19日米軍、イラク撤収完了8年9ヶ月駐留</p> <p>-トルコ:11年:GDP7.8%増</p>	<p>・主要国経済はアラブ政変で停滞。太陽光、原子力、電力、石化プロジェクトに影響。アラブ政変収束へ、復興需要も。イラク・アフガン、中東情勢の安定化、景気回復が課題</p>
中南米	<p>-ブラジル:20日基準金利0.5%引下げ年11.5%へ、9月:新車販売1.5%増31万台、7-9月:GDP前期比0.04%減2年半ぶり、個人消費0.1%減、固定資本投資0.2%減</p>		<p>-ブラジル:1日0.5%利下げ年11%へ</p>	<p>・ブラジル経済はインフレ、金融引締等で成長横這いへ。メキシコ経済も低成長へ、持続的成長が課題。</p>
露東欧	<p>-ロシア:7-9月:GDP4.8%増、輸出8月40%増、9月:前月比、小売売上高1.4%増、固定資本投資1.8%増石油高</p>			<p>・ロシアは石油価格の高止まり、新車販売、投資等内需中心に経済堅調。持続的回復が課題。</p>